

田村市 地域調査（産業連関表）報告

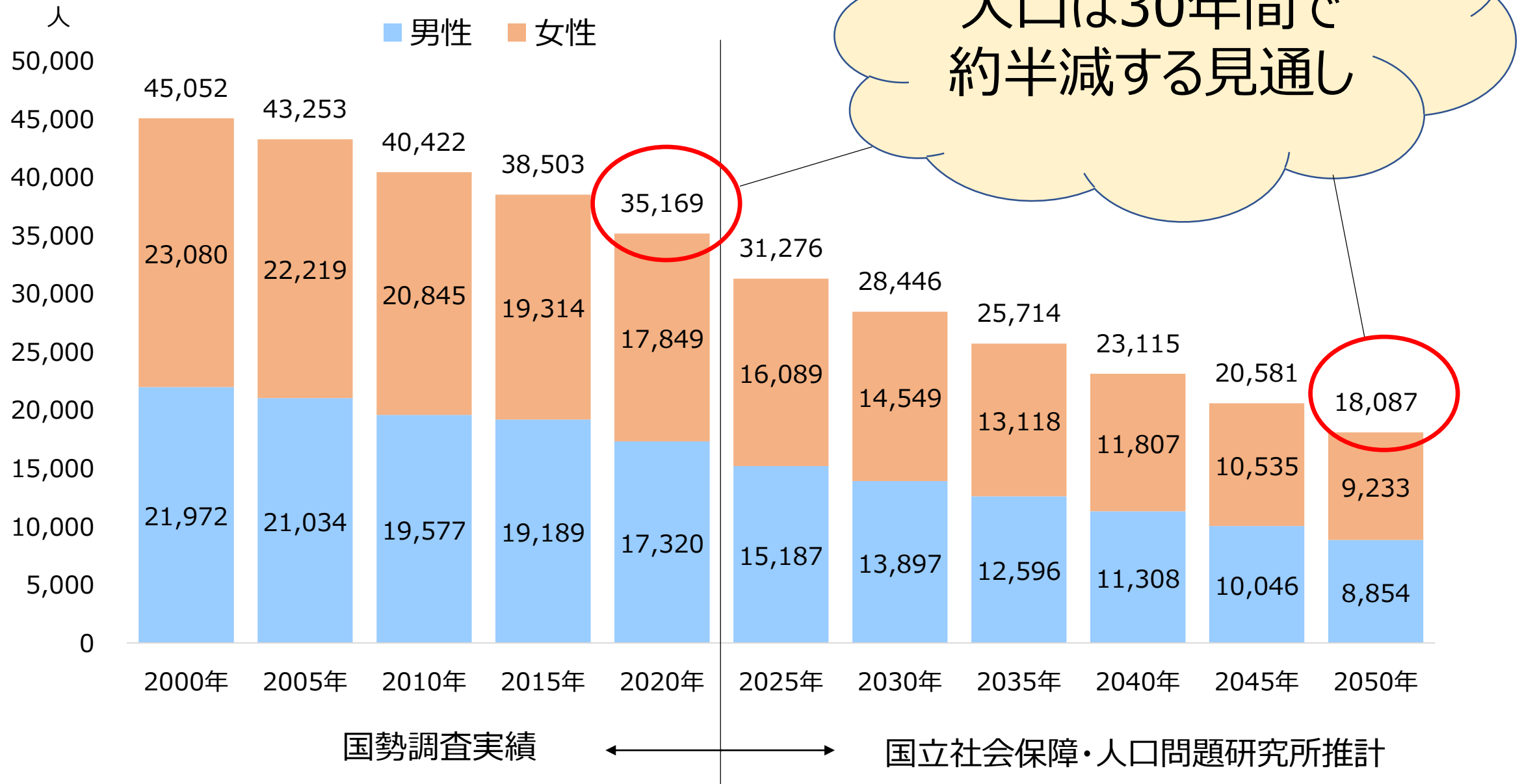


TOHO AREA RESEARCH INSTITUTE
一般財団法人 とうほう地域総合研究所

1. 田村市の人口見通し

田村市人口：32,875人（2024年2月1日現在、福島県現住人口調査より）

田村市の人口推移・将来推計人口

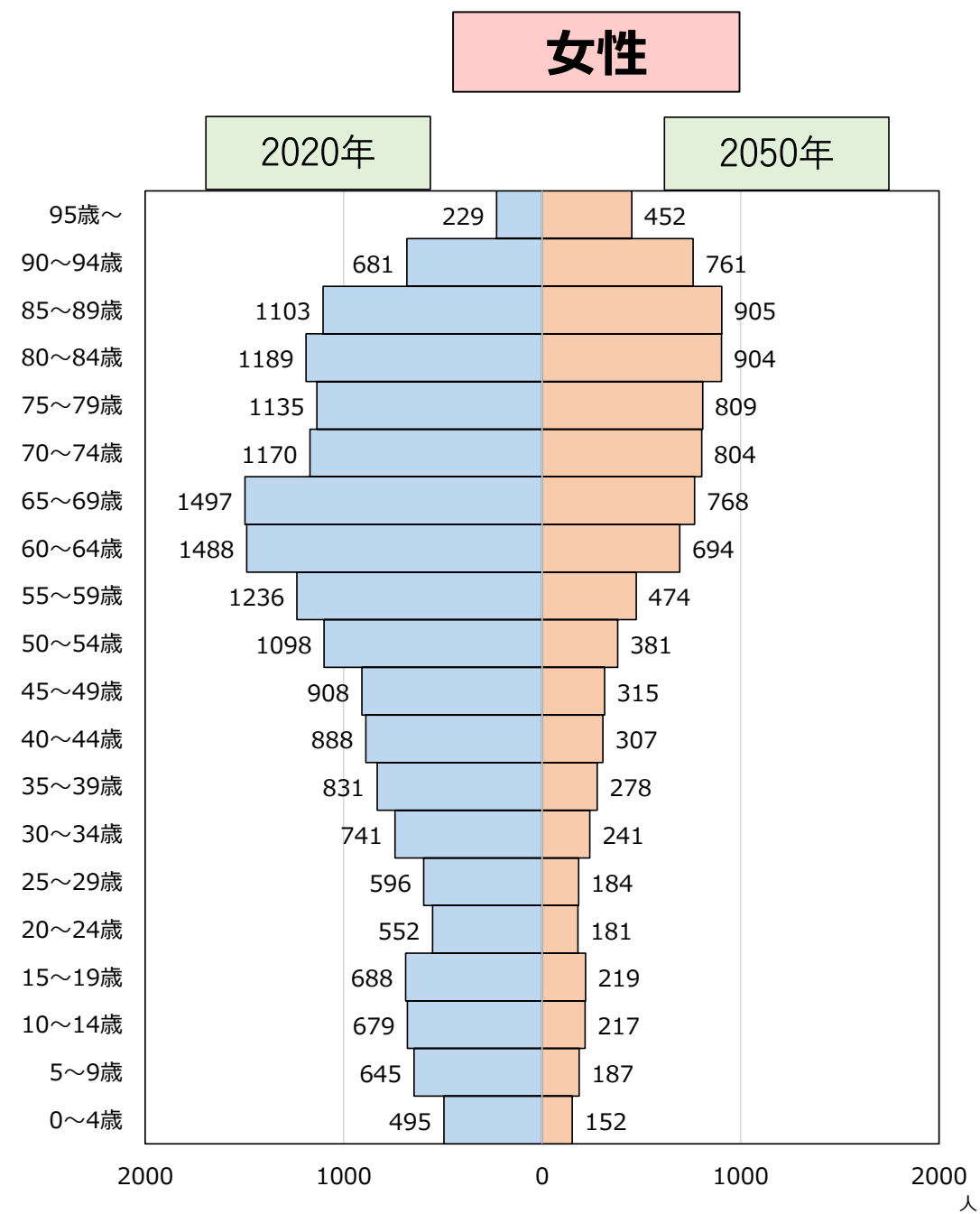
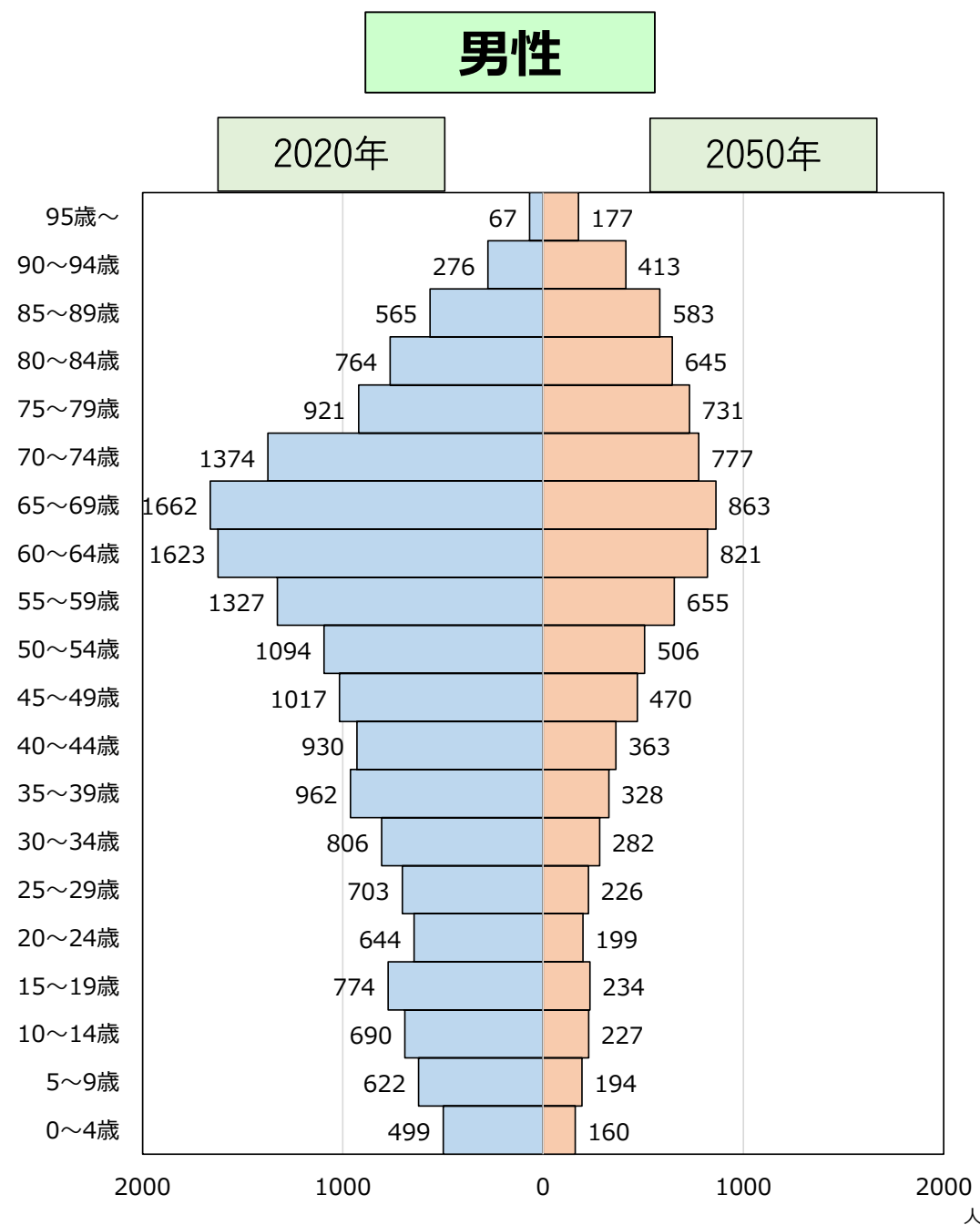


資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所社「日本の地域別将来人口推計」より作成
2000年人口は滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町の合計

2. 田村市の人口ピラミッド

人口減少・少子高齢化の中で経済成長を目指す

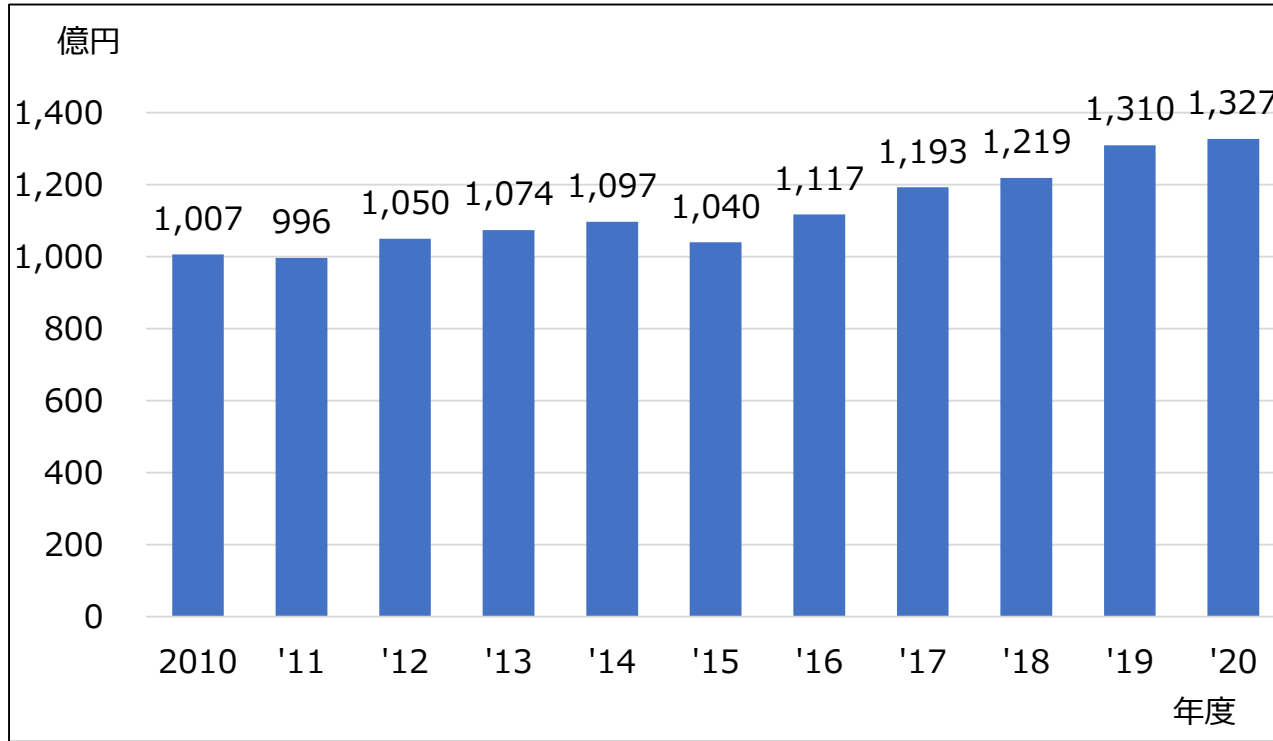
田村市の男女別人口ピラミッド（2020年、2050年）



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所社「日本の地域別将来人口推計」より作成

3. 田村市の市内総生産（新たに生み出した付加価値の合計）

田村市の市内総生産推移（名目）



- 2016年度以降右肩上がりで推移
 - 2020年度を2015年度と比較した田村市の増加率は27.6%
- ↓
- 総生産が1,000億円を超える市として増加率は高い水準

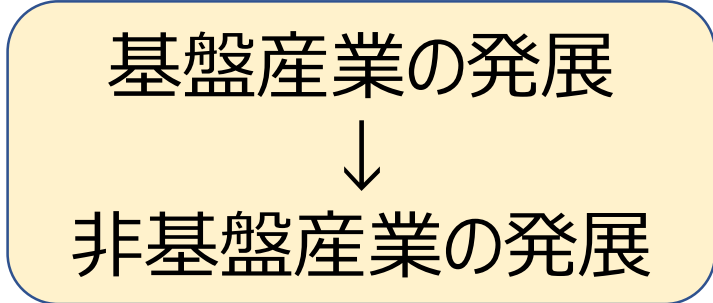
県内における総生産増加率の上位市町村（2015年度→2020年度比較）

順位	市町村	2015年度	2020年度	増減率
1位	双葉町	6,576	58,901	795.7
2位	大熊町	33,835	105,988	213.2
3位	金山町	12,666	18,324	44.7
4位	下郷町	14,526	19,457	33.9
5位	矢祭町	30,920	41,337	33.7
6位	中島村	17,579	23,474	33.5
7位	浪江町	33,600	43,523	29.5
8位	田村市	104,031	132,693	27.6
9位	昭和村	3,208	4,077	27.1
10位	柳津町	12,392	15,679	26.5
11位	川内村	8,474	10,586	24.9
12位	鮫川村	7,563	9,230	22.0
13位	檜枝岐村	5,218	6,113	17.2
14位	磐梯町	26,475	30,948	16.9
15位	三島町	6,772	7,909	16.8
16位	伊達市	159,598	186,267	16.7
17位	鏡石町	46,006	52,679	14.5
18位	西郷村	105,426	118,746	12.6
19位	只見町	17,707	19,727	11.4
20位	泉崎村	43,477	48,189	10.8

資料：福島県「市町村民経済計算」 2010年度は旧基準による参考値

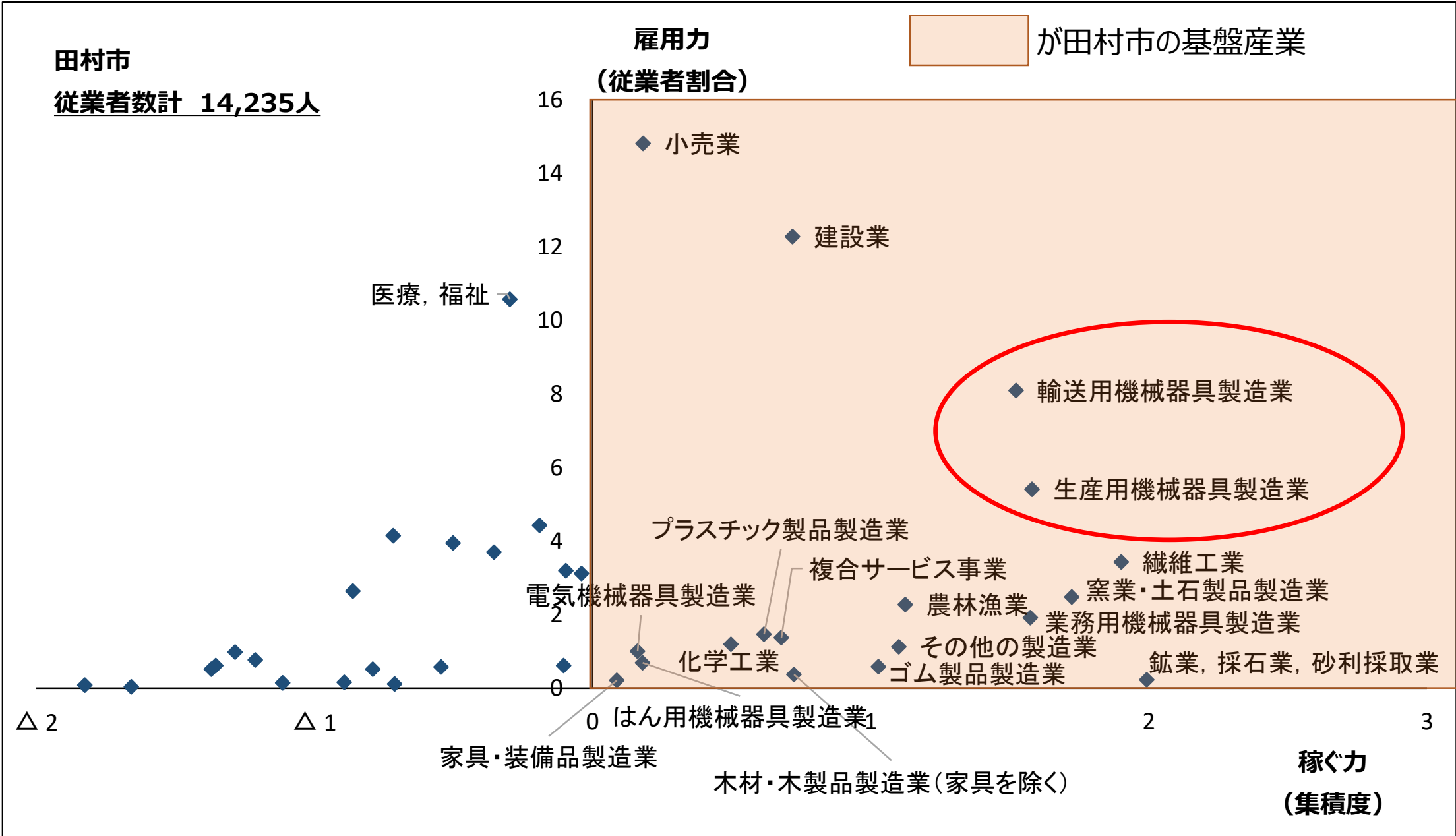
（単位：百万円、%）

4. 田村市の稼ぐ力と雇用力



田村市における産業Aの雇用力 = $\frac{\text{田村市における産業Aの従業者数}}{\text{田村市における全産業の従業者数}}$

田村市における産業Aの稼ぐ力 = $\frac{\text{田村市における産業Aの従業者割合}}{\text{全国における産業Aの従業者割合}}$



資料：総務省「経済センサス-活動調査」より作成

5. 田村市産業連関表の作成

今回作成：令和2年（2020年）田村市産業連関表 一部抜粋



(億円)

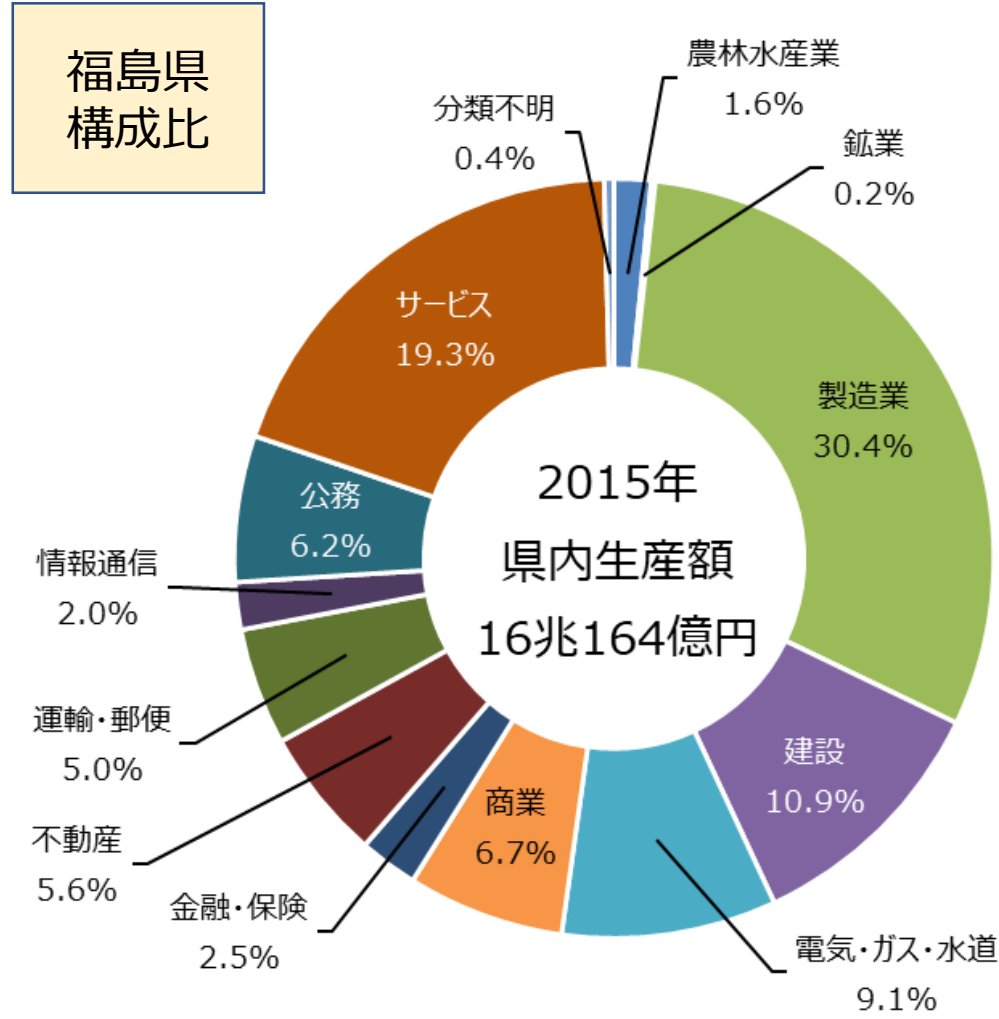
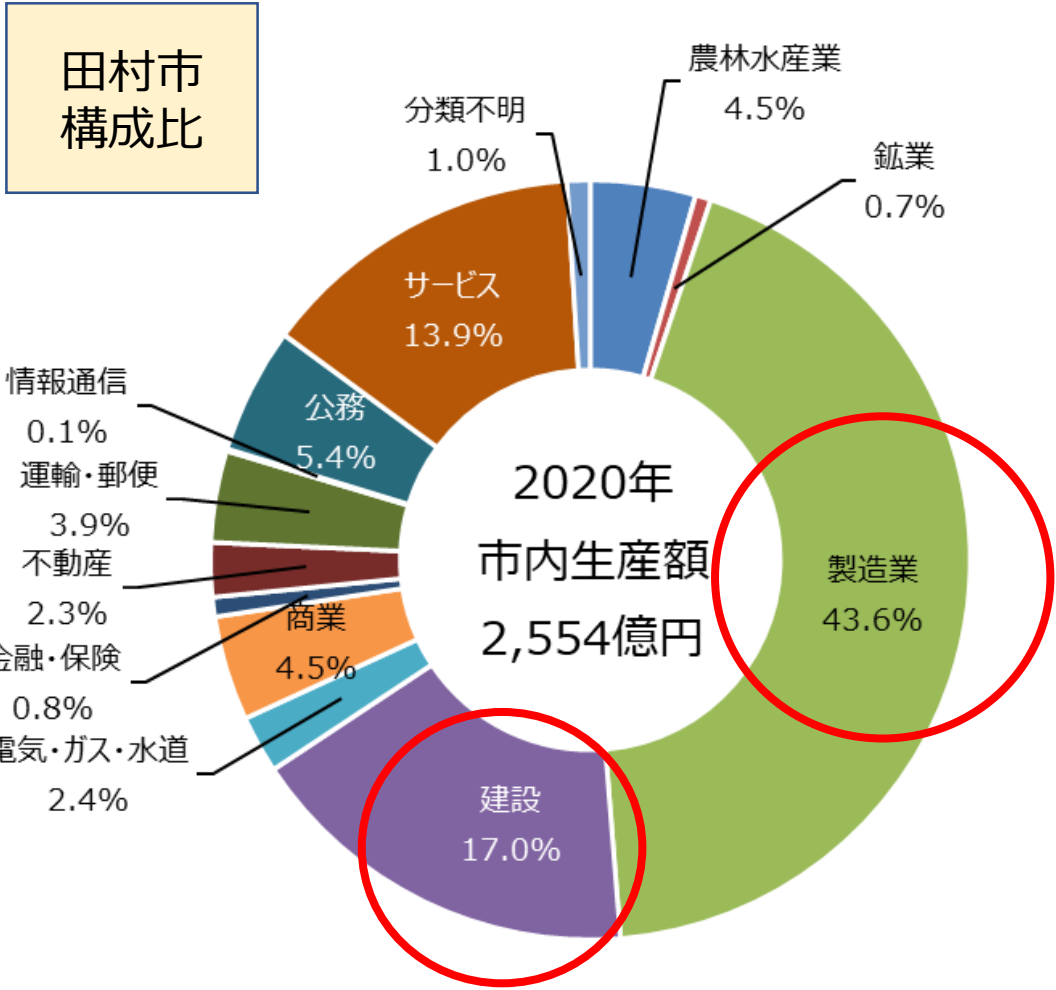
部門名称	01 農林 水産業	02 鉱業	03 製造業	04 建設	05 電力・ガ ス・水道	06 商業	07 金融・ 保険	08 不動産	09 運輸・ 郵便	10 情報 通信	11 公務	12 サービス	13 分類 不明	14 産業 部門計
01 農林水産業	14	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	21
02 鉱業	0	0	7	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	18
03 製造業	23	2	503	114	5	4	1	0	16	0	8	52	2	728
04 建設	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	6
05 電力・ガス・水道	1	0	32	3	12	4	0	0	2	0	7	12	1	74
06 商業	7	0	56	22	1	1	0	0	4	0	2	17	0	111
07 金融・保険	1	1	8	5	1	2	1	3	2	0	2	2	0	27
08 不動産	0	0	2	1	0	2	0	1	1	0	0	3	1	11
09 運輸・郵便	6	4	37	24	3	7	1	0	9	0	6	11	4	113
10 情報通信	0	0	7	4	1	4	1	0	1	0	5	8	3	36
11 公務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
12 サービス	2	1	49	44	5	11	3	1	16	0	14	28	2	176
13 分類不明	1	0	4	4	0	1	0	0	1	0	0	2	0	12
産業部門計	56	9	710	226	34	35	7	7	53	1	45	139	21	1,342
粗付加価値部門計	59	8	403	208	28	79	14	52	47	1	92	217	4	1,212
市内生産額	114	17	1,113	433	63	114	21	59	100	2	137	356	25	2,554

調達

農林水産業は製造業に4億円を販売 ⇔ 製造業は農林水産業から調達
 (例：農家がりんごを販売し、製造業がりんごジュースを生産)

6. 産業連関表からみる田村市の特徴

部門別生産額構成比の比較（13部門）



田村市は令和2年産業連関表、福島県は平成27年（2015年）産業連関表のデータ

- 「製造業」の構成比が4割を超え、「製造業」「建設」で6割を占める。
- 「建設」は復興の進捗とともに今後構成比が低下するものと予想。
- 経済成長の持続には「建設」部門以外でのさらなる産業集積が必要。

6. 産業連関表からみる田村市の特徴

農業や鉱業、窯業・土石製品などに特徴

部門別生産額構成比の比較（39部門）

(単位：億円、%)

No.	部門名	田村市		福島県	
		生産額	構成比	生産額	構成比
01	農業	99	3.9	2,169	1.4
02	林業	14	0.5	245	0.2
03	漁業	2	0.1	105	0.1
04	鉱業	17	0.7	268	0.2
05	飲食料品	3	0.1	5,218	3.3
06	繊維製品	57	2.2	622	0.4
07	パルプ・紙・木製品	8	0.3	2,836	1.8
08	化学製品	57	2.2	4,791	3.0
09	石油・石炭製品	0	0.0	140	0.1
10	プラスチック・ゴム	64	2.5	3,822	2.4
11	窯業・土石製品	94	3.7	1,911	1.2
12	鉄鋼	30	1.2	779	0.5
13	非鉄金属	0	0.0	3,094	1.9
14	金属製品	11	0.4	2,434	1.5
15	はん用機械	16	0.6	1,625	1.0
16	生産用機械	150	5.9	1,551	1.0
17	業務用機械	56	2.2	2,500	1.6
18	電子部品	21	0.8	3,914	2.4
19	電気機械	14	0.6	3,324	2.1
20	情報・通信機器	1	0.0	4,456	2.8

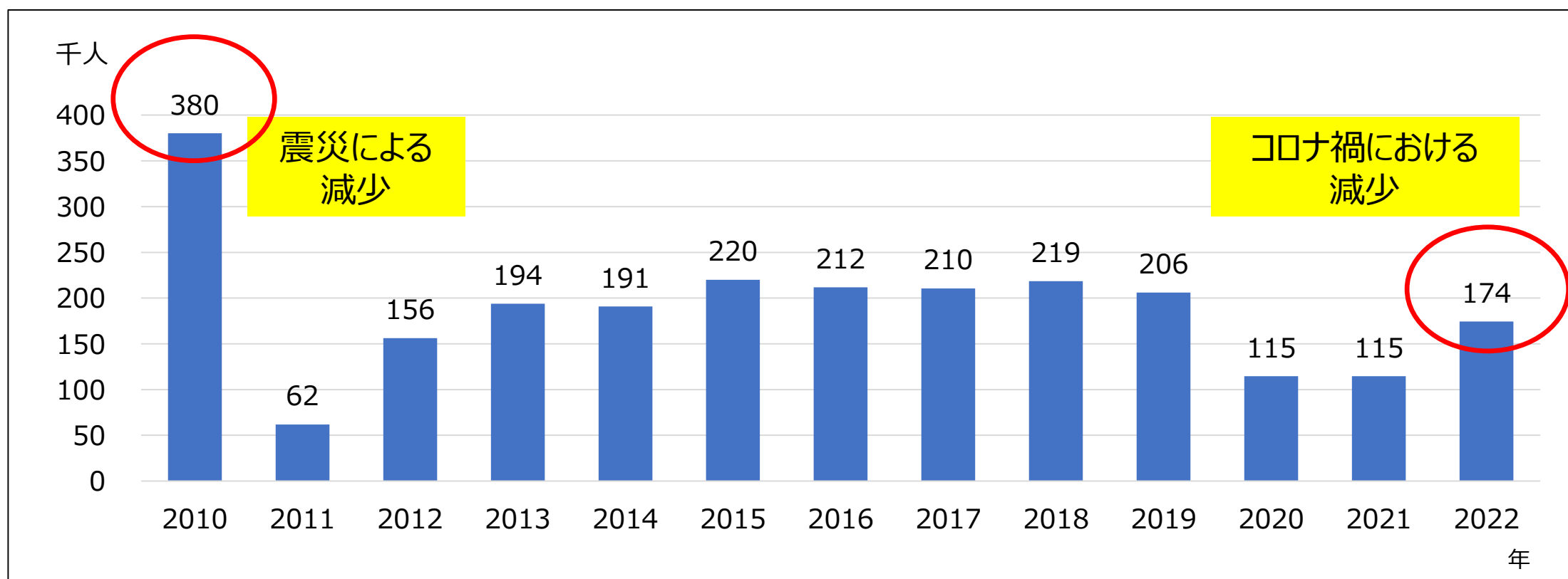
No.	部門名	田村市		福島県	
		生産額	構成比	生産額	構成比
21	輸送機械	448	17.5	4,109	2.6
22	その他の製造工業製品	78	3.1	1,307	0.8
23	建設	433	17.0	17,524	10.9
24	電気・ガス・熱供給	31	1.2	12,646	7.9
25	水道	7	0.3	708	0.4
26	廃棄物処理	24	1.0	1,296	0.8
27	商業	114	4.5	10,703	6.7
28	金融・保険	21	0.8	4,003	2.5
29	不動産	59	2.3	9,001	5.6
30	運輸・郵便	100	3.9	7,974	5.0
31	情報通信	2	0.1	3,223	2.0
32	公務	137	5.4	9,981	6.2
33	教育・研究	80	3.1	5,530	3.5
34	医療・福祉	128	5.0	10,000	6.2
35	その他の非営利団体サービス	13	0.5	619	0.4
36	対事業所サービス	47	1.8	7,546	4.7
37	対個人サービス	88	3.5	7,294	4.6
38	事務用品	4	0.1	233	0.1
39	分類不明	25	1.0	664	0.4
合計		2,554	100.0	160,164	100.0

7. 経済波及効果の推計

田村市の観光客入込数が20万人増加することによる経済波及効果

- 市外から来訪する観光客の増加は地域経済の活性化に寄与する。
- 「あぶくま洞・入水鍾乳洞」の入込数は2010年比で**20万人減少**。
- 田村市の観光客入込数が20万人増加した場合、田村市内にどれだけの経済波及効果が見込まれるのか推計を実施。

あぶくま洞・入水鍾乳洞の観光客入込数



資料：福島県「観光入込状況調査」より作成

7. 経済波及効果の推計

推計結果

観光客入込数が年間20万人増加することによる
田村市内における経済波及効果は8億50百万円

(単位：千円、人、倍)

	生産誘発額	うち		就業 誘発者数
		粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	
①直接効果	662,262	340,662	184,715	63
②第1次波及効果	127,607	63,176	34,080	9
③第2次波及効果	60,107	35,244	15,377	5
総合効果 (① + ② + ③)	849,976	439,082	234,172	77
直接効果に対する波及倍率	1.28			

① 直接効果

観光客が飲食店で食事をしたりお土産を購入することによる生産の増加。

② 第1次波及効果

直接効果によって、飲食店における肉や野菜など原材料の仕入れの増加。

③ 第2次波及効果

直接効果と第1次波及効果により増加した雇用者所得から消費へ支出。

7. 経済波及効果の推計

39部門別にみた経済波及効果

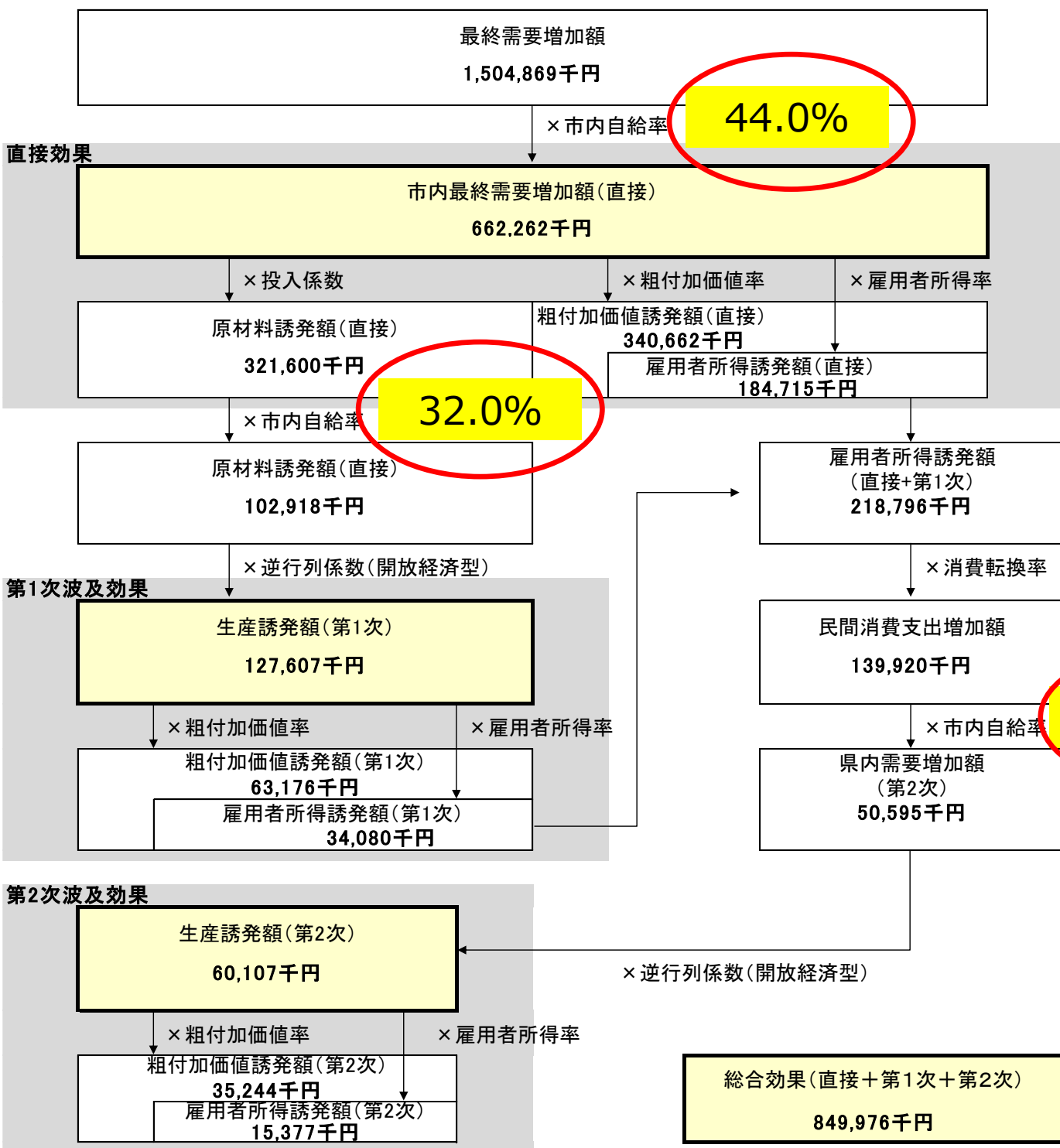
(単位：千円)

No.	産業	波及効果	No.	産業	波及効果	No.	産業	波及効果
1	対個人サービス	306,401	14	他に分類されない会員制団体	4,766	27	業務用機械	658
2	運輸・郵便	182,451	15	電力・ガス・熱供給	4,591	28	パルプ・紙・木製品	625
3	その他の製造工業製品	101,862	16	窯業・土石製品	4,177	29	情報通信	535
4	商業	65,716	17	漁業	3,879	30	鉄鋼	480
5	繊維製品	58,302	18	水道	3,536	31	生産用機械	337
6	農業	27,449	19	分類不明	3,029	32	電子部品	184
7	対事業所サービス	21,712	20	化学製品	2,100	33	金属製品	143
8	不動産	12,107	21	建設	1,904	34	電気機械	122
9	教育・研究	10,496	22	飲食料品	1,814	35	林業	61
10	輸送機械	7,738	23	事務用品	1,379	36	はん用機械	21
11	廃棄物処理	7,323	24	鉱業	1,255	37	情報通信機器	3
12	金融・保険	5,584	25	公務	1,175		石油・石炭製品	0
13	医療・福祉	5,131	26	プラスチック・ゴム製品	929		非鉄金属	0
							合計	849,976

- 最も波及効果が高かった産業は飲食店や旅館などの「対個人サービス」。
- 直接関連がないと思うような産業にも波紋のように効果が広がる。

7. 経済波及効果の推計

推計のフローまとめ



市内自給率の上昇



市内への効果拡大

- 田村市内で資金が循環する仕組みの強化
- 産業集積の取組みに期待

8. エコノミックガーデニング事業への期待

エコノミックガーデニング事業とは

- 地域経済を「庭」、地域企業を「植物」に見立て、地域という土壌を活かし企業が活躍しやすいビジネス環境を創出することで地域経済活性化につなげる取組み。
- 補助金や助成金に頼るのではなく市場によって中小企業を成長させるという考え方が特徴であり、地域の将来的な雇用と税収の確保を目指す。

産業連関表作成・経済波及効果推計の意味

- 産業連関表により田村市の産業の特徴を把握。
- 経済波及効果の推計により、市内の各産業が密接につながり効果を共有できることが確認できる。
- エコノミックガーデニング事業の取組みにより、田村市の中小企業が成長し、「田村市に住み、田村市で働きたい」と思う人が増えることを期待。